

【地域の概要】

- 多治見市の西北西に位置し、可児市に隣接する。
- JR東海太多線姫駅から南南西方向へ約1kmの場所である。
- 地区内の農地（約8ha）は、9割が水田として利用されている。

取組開始前の状況や課題

- 高齢化等に伴う耕作者減少により遊休農地が増えてきている。雑草の繁茂による害虫の発生、種子の飛散、火災の恐れ、動物等の隠れ家になってしまい、周囲の環境に悪影響を与えている。
- こうした状況に農業委員会だけでなく、地元の人々も危機感を抱いている。



雑草除去前

取組内容

地区の遊休農地の把握（令和3年10月）

○地元の市議会議員、農事改良組合長、農業委員及び農業委員会会長が集まり、全員で農地を歩いて回り現況を確認。

所有者への解消指導の実施（令和3年11月）

○協議の結果、農業委員会と農事改良組合の連名で文書を出すこととし、27筆18657㎡、17名に対して草刈りを依頼。結果、20筆13,077㎡の草刈りが行われた（成果を実感）。



雑草除去後

今後の展開と方向性

解消指導の継続実施

○今回通知を行った17名のうち、6名（7筆）の解消が実施されなかったため、引き続き、解消へ向けての指導を実施する。

遊休農地解消体制の検討

○この活動を契機に地元の農事改良組合が中心となり、農地保全を行うための体制作り（低廉な価格で草刈りの作業受託を受けるなど）が検討されはじめた。

次年度へ向けた市内他地区への活動展開

○南姫の他の地区（姫地区、大藪地区）においても遊休農地削減のため、同様の取り組みを農業委員会が中心となって検討する。